

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	YIC キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	デザイン科	夜・通信	41.5 単位	6 単位	
		夜・通信			
商業実務専門	医療事務科	夜・通信	28 単位	6 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>【デザイン】 https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/1759b8c0fde4253155ae9055c9f00b8d.pdf</p> <p>【医療事務】 https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/811ce81d5a88074dd8e1d025686ba306.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	YIC キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表 <https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/1b29946799d5526eada906eab9b402fd.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社エムビーエス 代表取締役	2021年3月 ～2025年3月	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
非常勤	共美工業株式会社 代表取締役	2021年3月 ～2025年3月	管理・運営に関する 意見具申及びガバナ ンス強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	YIC キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年度の初め、授業開始までに全シラバスを策定。 教育課程編成委員会にて外部委員との意見交換後、各学科での会議を経てホームページにて公開。毎時間のコマシラバスを作成しカリキュラムへ反映する。 各授業科目についての授業方法及び内容、到達目標、成績評価の方法などはホームページ上のシラバスを参考にすること。特に成績評価方法については、定期試験・小テスト・レポート課題・授業態度・演習の観点から評価するが、各授業科目について評価割合が変わるので、注意しておくこと。また、成績評価については秀・優・良・可・不可の5段階での評価を行う。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>【 デ ザ イ ン 】 https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/9fc9d23f5a7d4cd28db03cc5a95e5d5f.pdf 【 医 療 事 務 】 https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/3187c6e827542a6a9cf693ea414702bc.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 講義・専門分野の座学において、検定試験の実施。合格状況・点数をもとに評価を行う。 演習・実習など実践授業において連携事業での採用、公募等への出品、受賞・入選等結果を考慮する。また各単限での課題に対する取り組みの姿勢、出席状況など実務指導の面から加点を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、期末試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポートにより総合的に評価を行う。以後本試験とは期末試験後の総合評価をさす。</p> <p>評価は、秀、優、良、可、不可の5段階とし可以上を合格とする。合格した科目について単位を認定する。当該科目を履修したと認められない場合は未履修とし、当該科目の履修がなかったものとして扱う。</p> <p>本試験における成績評価は、本試験評価点により次の基準に従って決定する。</p> <p>秀一科目に対する理解度及び日常の学習状況が特に優秀な者 (90 点以上)</p> <p>優一科目に対する理解度及び日常の学習状況が優秀な者 (80 点以上)</p> <p>良一科目に対する理解度及び日常の学習状況が良好な者 (60 点以上 80 点未満)</p> <p>可一科目に対する理解度及び日常の学習状況がやや劣る者 (50 点以上 60 点未満)</p> <p>不可一科目に対する理解度及び日常の学習状況が著しく劣る者 (50 点未満)</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/0512917829a75d7b3e8580c86a2e1925.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学校関係者評価委員会および教育課程編成委員会の意見をもとにディプロマポリシーを策定しホームページ上にて公表。</p> <p>以下の卒業要件のもと卒業判定会議（職員会議）を経て校長が卒業を認定。</p> <p>卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。</p> <p>a. 各学科の教育課程に定める授業科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要時間数（単位数）を修得している。</p> <p>b. すべての校納金（学費、教材費等）が納められていること。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/0512917829a75d7b3e8580c86a2e1925.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	YIC キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 YIC 学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/353d015de51741c7bdda546803e86dbb.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/353d015de51741c7bdda546803e86dbb.pdf
財産目録	https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/c0ce3a474e0e98e04b63c10fc7d85d55-1.pdf
事業報告書	https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/764804bb0cd22bfaac0c8a69fe66ee99.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/3f156d7c078f4f5f1d3c5bf40279ddb0.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門	デザイン科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860/62 単位時間/単位	180時間/ 6単位	1650時間/ 55単位	30時間/ 1単位	時間/ 単位	時間/ 単位
		1860時間/ 62単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		19人	0人	4人	8人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）【様式第2号の3より再掲】</p> <p>年度の初め、授業開始までに全シラバスを策定。 教育課程編成委員会にて外部委員との意見交換後、各学科での会議を経てホームページにて公開。毎時間のコマシラバスを作成しカリキュラムへ反映する。 各授業科目についての授業方法及び内容、到達目標、成績評価の方法などはホームページ上のシラバスを参考にすること。特に成績評価方法については、定期試験・小テスト・レポート課題・授業態度・演習の観点から評価するが、各授業科目について評価割合が変わるので、注意しておくこと。また、成績評価については秀・優・良・可・不可の5段階での評価を行う。</p>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <p>講義・専門分野の座学において、検定試験の実施。合格状況・点数をもとに評価を行う。演習・実習など実践授業において連携事業での採用、公募等への出品、受賞・入選等結果を考慮する。また各単限での課題に対する取り組みの姿勢、出席状況など実務指導の面から加点を行う。</p> <p>成績評価は、期末試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポートにより総合的に評価を行う。以後本試験とは期末試験後の総合評価をさす。</p> <p>評価は、秀、優、良、可、不可の5段階とし可以上を合格とする。合格した科目について単位を認定する。当該科目を履修したと認められない場合は未履修とし、当該科目の履修がなかったものとして扱う。</p> <p>本試験における成績評価は、本試験評価点により次の基準に従って決定する。</p> <p>秀一科目に対する理解度及び日常の学習状況が特に優秀な者 (90点以上)</p> <p>優一科目に対する理解度及び日常の学習状況が優秀な者 (80点以上)</p> <p>良一科目に対する理解度及び日常の学習状況が良好な者 (60点以上 80点未満)</p> <p>可一科目に対する理解度及び日常の学習状況がやや劣る者 (50点以上 60点未満)</p> <p>不可一科目に対する理解度及び日常の学習状況が著しく劣る者 (50点未満)</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>1. 進級条件</p> <p>a. 各学科における、各学科の教育課程表に定める1年次の必要単位数を全て履修していること。</p> <p>b. 該当年次の学費、教材費が納められていること。</p> <p>上記の条件を満たした者は、職員会議を経て校長が進級を認定する。</p> <p>2. 卒業条件</p> <p>a. 各学科における、各学科の教育課程表に定める2年次の必要単位数を全て履修していること。</p> <p>b. 該当年次の学費、教材費が納められていること。</p> <p>上記の条件を満たした者は、職員会議を経て校長が卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>キャリアサポート支援</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	2人 (10%)	17人 (81%)	2人 (10%)
(主な就職、業界等)			
デザイン 印刷 販売・営業 一般事務			
(就職指導内容)			
様々な求人情報をキャリアサポート室に保管。在学期間中にビジネスマナーの集団指導、個別に履歴書の書き方、面接対策などを行う。その他企業研究、ポートフォリオ作成			

(主な学修成果(資格・検定等)) レタリング 色彩検定 CGクリエイター Webデザイナー
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 学生相談窓口の紹介、休退学を考えている本人及び保護者との面談を行い、再考する機会として休学を勧める等、他の選択肢を提示し、数日後、本人の意思を確認する。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談窓口の紹介、休退学を考えている本人及び保護者との面談を行い、再考する機会として休学を勧める等、他の選択肢を提示し、数日後、本人の意思を確認する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門	医療事務科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860/62 単位時間/単位	1020時間/ 34単位	705時間/ 23.5単位	135時間/ 4.5単位	時間/ 単位	時間/ 単位
			1860時間/ 62単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		5人	0人	1人	1人	2人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）【様式第2号の3より再掲】

年度の初め、授業開始までに全シラバスを策定。
教育課程編成委員会にて外部委員との意見交換後、各学科での会議を経てホームページにて公開。毎時間のコマシラバスを作成しカリキュラムへ反映する。
各授業科目についての授業方法及び内容、到達目標、成績評価の方法などはホームページ上のシラバスを参考にすること。特に成績評価方法については、定期試験・小テスト・レポート課題・授業態度・演習の観点から評価するが、各授業科目について評価割合が変わるので、注意しておくこと。また、成績評価については秀・優・良・可・不可の5段階での評価を行う。

成績評価の基準・方法

（概要）【様式第2号の3より再掲】

講義・専門分野の座学において、検定試験の実施。合格状況・点数をもとに評価を行う。
演習・実習など実践授業において連携事業での採用、公募等への出品、受賞・入選等結果を考慮する。また各単限での課題に対する取り組みの姿勢、出席状況など実務指導の面から加点を行う。
成績評価は、期末試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポートにより総合的に評価を行う。以後本試験とは期末試験後の総合評価をさす。
評価は、秀、優、良、可、不可の5段階とし可以上を合格とする。合格した科目について単位を認定する。当該科目を履修したと認められない場合は未履修とし、当該科目の履修がなかったものとして扱う。
本試験における成績評価は、本試験評価点により次の基準に従って決定する。
秀一科目に対する理解度及び日常の学習状況が特に優秀な者（90点以上）
優一科目に対する理解度及び日常の学習状況が優秀な者（80点以上）
良一科目に対する理解度及び日常の学習状況が良好な者（60点以上80点未満）
可一科目に対する理解度及び日常の学習状況がやや劣る者（50点以上60点未満）
不可一科目に対する理解度及び日常の学習状況が著しく劣る者（50点未満）

卒業・進級の認定基準

1. 進級条件

- a. 各学科における、各学科の教育課程表に定める1年次の必要単位数を全て履修していること。
 - b. 該当年次の学費、教材費が納められていること。
- 上記の条件を満たした者は、職員会議を経て校長が進級を認定する。

2. 卒業条件

- a. 各学科における、各学科の教育課程表に定める2年次の必要単位数を全て履修していること。

b. 該当年次の学費、教材費が納められていること。 上記の条件を満たした者は、職員会議を経て校長が卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 学年担当制 キャリアサポート支援

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (%)	3人 (75%)	1人 (25%)
(主な就職、業界等) 医療事務 一般事務			
(就職指導内容) 様々な求人情報をキャリアサポート室に保管。在学期間中にビジネスマナーの集団指導、個別に履歴書の書き方、面接対策などを行う。その他企業研究。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 医療事務 (医科・歯科) 日商簿記 秘書			
(備考)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談窓口の紹介、休退学を考えている本人及び保護者との面談を行い、再考する機会として休学を勧める等、他の選択肢を提示し、数日後、本人の意思を確認する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
デザイン科	150,000 円	600,000 円	480,000 円	
医療事務科	150,000 円	600,000 円	430,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/5218872640476e6898b29aa6b97c17fe.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 専門学校の実践的な職業教育の質を確保するため、学校関係者評価委員の方と当校教職員が、学校自己点検・自己評価結果、在校生・卒業生・卒業生の職場の上司へのアンケート結果に基づき、学校の管理運営について議題とし意見交換を行う。 学校関係者評価委員会は、原則として年2回開催する。 ①評価項目(教育理念・目的・人材育成像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守等) ②委員会の構成(定数5名以上(1)保護者(2)YIC学院各校卒業生(3)地域住民(4)地元企業関係者(5)高等学校関係者(6)その他教育に関する有識者) ③評価結果の活用方法(改善事項は副校長を責任者とし、可能な限りの速やかに対応する)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 山口県デザイン協会	2020年4月1日 ～2022年3月31日	職能団体
徳山商工会議所	2020年4月1日 ～2022年3月31日	職能団体
医療法人こうえい会香田整形外科医院	2020年4月1日 ～2022年3月31日	企業関係者
Honey Design	2020年4月1日 ～2022年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/cd/cms/wp-content/uploads/5218872640476e6898b29aa6b97c17fe.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yic.ac.jp/cd/
--